

八月の狂詩曲（ラブソディー）（1991）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 98分
初公開日 1991/05/25

【解説】

黒澤明監督が村田喜代子の原作を基に、かつて原爆を体験した祖母の許を訪れた4人の孫が体験するひと夏の出来事を描き、反核を訴える感動ドラマ。夏休み。長崎から少し離れた山村に住む老婆・鉦の許に4人の孫たちがやってきた。都会の生活に慣れた孫たちは田舎の生活に退屈を覚えながらも、長崎の街にある戦争の傷跡や鉦が話す昔話を聞いて、戦争に対する考えを深めていく……。その反核に対するストレートな表現が賛否を呼んだが、ラストのシーンには誰もが胸を打たれることだろう。長崎に原爆が投下されたシーンで、「空を覆ったキノコ雲が、人を睨みつける巨大な目のように見えた」ことを示すため、空に目が合成された。

【クレジット】

監督	黒澤明	Akira Kurosawa	
製作	黒澤久雄		
ゼネラルプロデューサー	奥山融		
原作	村田喜代子		『鍋の中』
脚本	黒澤明	Akira Kurosawa	
撮影	斎藤孝雄		
	上田正治		
美術	村木与四郎		
衣装デザイン	黒澤和子	Kzuko Kurosawa	
編集	黒澤明	Akira Kurosawa	
音楽	池辺晋一郎		
助監督	小泉堯史		
出演	村瀬幸子		鉦
	井川比佐志		忠雄
	茅島成美		町子
	大寶智子		たみ
	伊崎充則		信次郎
	根岸季衣		良江
	河原崎長一郎		登
	吉岡秀隆		縦男
	鈴木美恵		みな子
	リチャード・ギア	Richard Gere	クラーク